

クラス道徳

「アンネのバラ」



あらすじ

東京都杉並区にある高井戸中学校では、アンネのバラと名付けられたバラが大切に育てられています。40年ほど前、国語の授業を通して「アンネのバラ」の話を知った生徒たちは、「平和のシンボルとして、自分たちの学校で育てたい。」という思いをもちました。そして、生徒たちの思いを知ったアンネの父親オットーさんが、バラの苗を送ってくれたのです。3株のバラは160株ほどに増えましたが、世話をし続けることは決して易しいことではありませんでした。平和の願いが込められたこの花は、国や時を超え、困難を乗り越えて咲いていると気づいた生徒たちは、アンネと同じ年の自分たちが「いのちのバトン」をリレーし続けていこうとバラを育て続けています。

「アンネのバラ」を育て続けることが、
どうして「平和への思いをつなぐ」ことになるのだろうか？

卒業生のお話を聞いた生徒が
「アンネのバラ」を
育て続けるのは、
どんな気持ちからだろう？



暗い戦争の炎の中に死んでいったアンネ・フランクの魂のためにヨーロッパの園芸家が薔薇をつくり、アンネの父、オットー氏に贈った。それが多くの人々の善意により、この遠い日本の地にも根付く。この世の人々が手をつなぎ合って、永遠に幸せを守り続けられるようにと、心からの願いをこめて、この薔薇を育てていこう。私達は決してこの薔薇を枯らしてはならない。

アンネ・フランクに寄せる手紙編集委員会

<みんなの感想>

- みんながみんなを認め合うのが平和な世界を実現するために大切なことだと思う。1人の生徒からはじまったものが、日本にまで渡ってきて、広がっていくのはすごいと思う。「平和は僕らが作り出すもの」のところがすごく心に残りました。(Sさん)
- 昔にあった出来事を絶対に忘れてはいけない、今の私たちの思いと、昔の人々の思いを共鳴させて、つなげていって、私たちの先の世代の人にもつなげていくことが大切だと思う。(Wさん)
- 平和について考えることがあったり、同じ過ちをおこさないようにしたりすることは、この世界にとって何よりも大切なことだと思う。そしてどんなことでも継続することは、難しいけど、すごく大切なことだと思う。(Mくん)
- 私は、平和な世界を実現するには、たくさんの人が平和について考えて、受け継ぐことが大切だと分かった。そこで、一人ひとりが平和について考えることが実現のための第一歩だと思う。(Iくん)
- 「アンネのバラ」を育て続けることによって、平和への思いを引き継いでいって素敵なことだと思いました。今の日本は平和だけど、世界には苦しんでいる人がたくさんいるから、その人たちも心から笑える平和な世界になってほしいと思いました。(Oさん)
- 日本でこんな取り組みが昔からされていたことを知って驚いた。それが40年以上も引き継がれて、今にいたるといことは、ここにくるまでにたくさんの人が平和について考えたという素晴らしい結果になっていて、それがまたすごいなと思った。(Tさん)
- 国際理解はとても深く考えられることだと思います。今回でいえば、「アンネのバラ」の取り組みが今も続けられていることは素晴らしいと思った。やっぱり自分の国だけじゃなくて、世界に目を向けることで世界の国との関わりを増やすことができる。世界と交流するのは大切だと思いました。(Uくん)
- しっかり考えられた。平和とは何か。バラに込めた思いなどいろいろ考えるところがあった。戦争の恐ろしさなどを伝えるのは人だけではないのかもしれないと思った。(Iさん)

「アンネのバラ」を育て続けることが、 どうして「平和への思いをつなぐ」ことになるのだろうか？

- アンネのバラがずっとあることで、アンネの時代のことや、二度と起こしてはいけない過ちを伝えることができるから。
- アンネのバラが平和のシンボルだから。
- 「アンネのバラ」は、平和のシンボルだから、このバラを見た人が、この出来事を思い出して、二度と同じことをしてはいけないと思えるから。
- アンネの気持ちをつなぐことになるから。(アンネは平和を願っていたから)
- 平和のシンボルを守り続けて二度と戦争が起こってほしくないから。
- 当時の悲惨さを、このバラへ込めて、もうこんなことがないように伝えたいのだから。
- アンネのバラが生きていくことで、平和な世界を育てていく。
- アンネは辛い思いをたくさんしてきた。だから、もうそんな辛い思いをする人が出ないように、「平和」になろうという思いがあるから。
- 悲しい出来事からできたバラだから、もうそんなことをしてはいけないという思いで、平和のシンボルとして、つけられたのかなと思った。